



笑顔あかるく 心あったか すごしてあんしん

みんなの個性が尊重される学級に！(5年)

11月14日(火)、三重県弁護士会の伊藤さんに来ていただき、普段の友だちとの関り方について考えるお話をさせていただきました。伊藤さんから、人はそれぞれ違うので、みんなが幸福になるためには人によって違う個性を尊重することが大切であることや、まわりの人その人の個性を伸ばし尊重していくような声掛けをしていくことで一人一人が認められる集団となっていくこと等を、具体的な例を示しながら伝えていただきました。

伊藤さんが話されたことは、10月11日(水)の一身田中学校区の人権公開授業で5年生が話し合ってきたこととつながることも多く、子どもたちも今まで体験してきたことや考えてきたことをもとに、興味を持って授業を受けていました。

今回の伊藤さんのお話や一身田中学校区の人権公開授業で考えたことをもとに、なかまとの関わり方を見つめ直し、みんなの個性が尊重される学級づくりを進めていってほしいと思います。



ユニバーサルデザインのまちづくり(4年)

11月15日(水)、津市社会福祉協議会の方に来ていただき、4年生がユニバーサルデザインのまちづくりについて学習をしました。ユニバーサルデザインとは、初めからなるべくみんなが使いやすいようにすることで、7つの原則(誰にでも公平、簡単に使える、使いやすい方を選べる、分かりやすい、安全であるアイマスク体験や車いす体験、体への負担が少ない、スペースが確保されている)があることや、私たちの身の回りにもユニバーサルデザインを考えたまちづくりが進められていること等を教えていただきました。また、目が不自由で見えない人や車いすで生活している人が、普段の生活の中でどのようなことで困っているかを知るために、アイマスク体験や車いす体験もさせていただきました。

アイマスク体験や車いす体験を通して、目が不自由な人や車いすで生活している人たちは、日常生活の中で不安や不自由を感じながら生活していることも多いことを感じ取り、そういったときに声をかけたり、手助けをしたりすることの大切さを学んでいました。

最近ではユニバーサルデザインのまちづくりが進んできていますが十分ではなく、私たちが、声をかけたり手助けをしたりするといった、ちょっとした行動が、さらにユニバーサルデザインのまちづくりを進めることになることを、子どもたちは感じ取っていました。



アイマスク体験



車いす体験

防災についての学習(5年)

11月22日(水)の午前中、日本赤十字三重県支部の方に来ていただき、5年生が防災についての学習を行いました。今回の学習には赤十字の国際交流事業で来日しているインドネシアの高校生3人も参加してもらいました。

5年生の進行で開会式をした後、インドネシアの高校生との親睦を深めるため、レクリエーションを行いました。最初のレクリエーションは、インドネシアと日本のジャンケンでした。インドネシアのジャンケンは、日本の「石、紙、はさみ」の代わりに指で「象、人、アリ」を表して行います。試しにやる中で、子ども達はすぐにインドネシアのジャンケンに慣れて、楽しそうに活動していました。ジャンケンの後、鬼ごっことドッチボールでも親睦を深めました。

レクリエーションの後、グループで防災に関わる問題に挑戦しました。「学校から避難する時に靴か上靴かどちらが良いでしょう」「非常食として向かないものを探そう」といった問題に挑戦しました。

防災に関わる問題に挑戦した後、ビニール袋に米と水を入れたものを火にかけて、ごはんを炊く実習をしました。これは災害などで炊飯器が使えない場合にご飯を用意することに役立つ体験です。家庭科室でビニール袋に決められたお米と水を入れて、ビニール袋の口を閉じて、水に入れて加熱します。30分ほど茹でると、美味しいごはんができあがります。ごはんが茹であがるまで、災害時にどのような行動をするのがよいのかや赤十字がどのような活動をしているか等について説明を聞きました。

今回の防災の学習で、いざという時の行動の仕方や普段からの備え等について学習できました。今回学習したことを、これからの生活に生かしていくようにしてほしいと思います。



インドネシアのジャンケンに挑戦



防災の問題に挑戦



ごはんを炊く実習

運動場の清掃作業 ありがとうございます

波の子会本部役員と学級委員、教職員が参加して、本年度2回目の、清掃作業を11月12日(日)に行いました。前日の11月11日(土)に4人の地域の方々に運動場周辺の草を刈っていただき、刈っていただいた草を清掃作業でビニール袋につめて、回収しました。

正門やプール、校舎周辺を中心に草を刈っていただいたおかげで、学校全体がすっきりとして、子どもたちが気持ちよく学校での活動を行うことができます。本当にありがとうございました。

